

笑顔のために  
for one's smile



令和4年2月1日発行  
議会だより  
No.424

表紙説明は裏表紙をご覧ください

# 目次／あなたの声をお待ちしています等

## 目 次

- 01 表紙
- 02 目次／あなたの声をお待ちしています等
- 03 政治倫理条例制定特別委員会の設置
- 04 【特集】高校生 × 女性議員
- 06 11月定例会の流れ
- 07 11月定例会議決結果
- 08 議会運営委員会／常任委員会
- 10 一般質問の目次
- 11 一般質問（17人）
- 20 表紙説明／編集後記

### あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑や議会だよりの内容等、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メール等でご意見お待ちしております。

アンケート用紙→傍聴席のアンケート回収箱に  
郵便→〒418-8601  
富士宮市弓沢町 150 番地  
メー ル→c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



### 議会を『ネット』でみよう！



本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。右からインターネット中継・会議録検索システムを見ることができます。

※インターネット中継の配信内容は、公式記録ではありません。



富士宮市議会

検索

### 議会だよりの電子版のご案内

富士宮市ホームページから、議会だよりの電子版（PDF版）を見ることができます。バックナンバーも格納していますので、是非ご利用ください！



## 富士宮市議会政治倫理条例制定特別委員会 を設置しました

議会の綱紀粛正及び議員の資質向上などを目的とした、政治倫理条例の制定に向けて調査検討を行うため、11月25日の本会議において特別委員会を設置しました。

委員会のメンバーは、10月の補欠選挙で当選した新議員3人を加えた8人で構成されています。

### ～委員会の経過～

▲ 11月25日の委員会では、委員長と副委員長の選任を行いました。

▲ 12月9日の委員会では、今後の委員会の進め方について議論しました。また、条例の条項について、どのような項目を明記すべきかについて、各会派で議員の意見を集約することになりました。

▲ 12月24日の委員会では、条例に規定する項目や内容について各会派で検討したことを報告し、次回から条例に盛り込む項目について協議していくため、会派に持ち帰り検討し、項目ごと必要性和内容について重点的に協議していくことになりました。

### 鈴木 弘 委員長コメント

富士宮市議会において昨年、誠に遺憾ながら不祥事により3名もの辞職者が出るという、ありえない事件が発生し、議会の信用を大きく失墜してしまいました。この信頼を回復するための1つの方策として、議長から議員政治倫理条例の策定が提案され、この特別委員会の設置となりました。

私たちは法令を遵守することは当然であり、日頃よりお天道様に見られても恥ずかしくないという倫理観を持って自らを律し、健全で平和な生活を心掛けています。

しかし市民の代表として選ばれ、政治に関わる議員は、公職者としてより高い倫理感を持つことが必要です。そしてこの倫理観を共有することが議員の「適格性」を保証することになり、また議員自ら常に襟を正すことができ、市民皆様の信頼を得ることにつながると思います。

議員の倫理観を共有する政治倫理条例が市民皆様から信頼される基盤となり、一刻も早く信頼を回復し、清浄であり公正で民主的な議会活動に邁進できるようにしたいと考えます。



委員長 鈴木 弘 (前列左)

副委員長 辻村岳瑠 (前列右)

委員 後列左から、  
仲亀恭平、齋藤和文、船山恵子、  
臼井由紀子、松永孝男、渡辺佳正

議会だよりでは、今後も政治倫理条例制定特別委員会における協議内容を、市民の皆様にはわかりやすくお伝えしていく予定です。



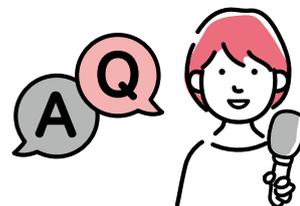
# 女性活躍の推進



“個人”を尊重できる社会へ

富岳館高校の生徒さんが、ジェンダー平等(SDGs項目5)や市議会議員補欠選挙で2人の女性議員が新たに誕生したことを踏まえ、女性のさらなる社会進出をテーマに、富士宮市議会の女性議員取材してくれました。

高校生から女性議員はどのように見えたのでしょうか。



## 議員と女性



佐野 心羽(さのもとは)さん  
《富岳館高校》

- Q 議員になろうと思った理由を教えてください。
- A 【若林】女性議員が1人もいなかったこと、直接市に意見や要望を言いたかったからです。
- Q 議員の仕事は大変ですか？
- A 【近藤】議員の言葉には重みがあります。そこに責任を感じます。
- Q 男性と女性の間で差を感じますか？
- A 【臼井】若い世代の方ほど、男性、女性の固定概念が薄れてきている気がします。私たち議員は、その先駆けとなっていきたいと思っています。

Q 家庭と議員の両立は大変ですか？

A 【船山】私の場合は、子育てが終わってから議員になりました。今は健康寿命が長いので、子育てが終わった年齢でも、まだまだ頑張れると思っています。

Q 過去と比べて、社会的に変わったことはありますか？

A 【近藤】LGBTQIAや性に関する社会的議論が表面化してきていると思います。また、固定化された男女間の役割分担の認識が少しずつ変わってきているとも感じます。

Q 女性議員だからこそ、実現しやすかったことはありますか？

A 【若林】不妊治療や不育症への補助拡大。安定ヨウ素材の備蓄などです。予算的に大きな政策も大事ですが、生活に身近な課題を提起することができたと思います。



近藤 千鶴 議員



取材前のアイスブレイク



若林 志津子 議員

## 一人ひとりの人権を大切に

**Q** ジェンダーレス社会 (SDGs 項目5) が必要であると思う理由を教えてください。

**A** 【若林】今は、一人一人の人権を尊重することが大事だと思います。そこに男女は関係ありません。みんな、一人一人が、自分自身として堂々と発言し、主張することが望ましいと思いますし、社会全体がそういう意識になってほしいです。

**A** 【船山】個人を大切にできる社会がよい社会だと思います。尊重や認め合いの精神が大切だと思います。

**Q** 多様な人材が議員になっていくために、何が必要であると考えていますか？

**A** 【近藤】どんな人でも立候補しやすい環境作りが必要だと思います。また、皆さんには政治に関心を向けていただき、投票に行ってくださいとすることが大切だと思います。



酒井 萌衣 (さかい めい) さん  
《富岳館高校》



船山 恵子 議員



白井 由紀子 議員

## 変わっていく意識

【若林】女性自身が男女同権を主張し、実践することが大切であると思います。また、その主張と実践を、どんな女性もどんな場 (どんな立場) でも行うことが、社会の意識を変えることにつながると思います。その積み重ねにより、少しずつ意識が変わり、女性の意見に答えてくれる社会になっていけばと思います。

【白井】若い世代の方は、自然にジェンダーレスになってきていると思います。地元の地区でも女性役員が生まれてきています。そういった積み重ねが行く行くは、議会にも反映していくと思いますので、一気には変わりませんが、少しずつ変わっていくように思います。

## 取材者 (富岳館高校生徒さん) 感想

【佐野心羽さん】生徒会役員として、議員のように皆のためにできることを積極的にしていきたいと思いました。

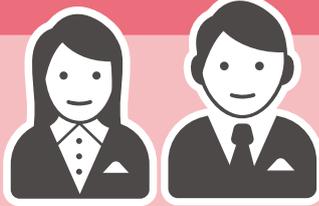
【酒井萌衣さん】視野を広く持つことの大切さがわかりました。選挙権を持った時、積極的に参加していきたいです。また、これからは議会だよりも注目していきたいです。



取材後の記念撮影  
(写真撮影時のみマスクを外しています)



# 11 月定例会の流れ



開会、  
特別委員会の設置、  
提案理由説明※1

11/25

政治倫理条例制定特別委員会の  
設置を決定しました。



付託された案件について、常任委員  
会では詳しく調査検討をしました。  
それ以外にも常任委員会は、所管事  
務調査※3を行うこともできます。

議案審議  
審査付託※2

11/29

CHECK! P7

11月定例会では議案審議や一般質問に加  
え、政治倫理条例制定特別委員会の設置を  
決定しました。



議案(条例の一部を変えることや、  
令和3年度補正予算など)について  
審議し議決しました。

常任委員会  
開催

11/30~12/2

CHECK! P8,9

一般質問とは、議案とは別に、議員が市  
の事業全般について執行状況や将来の  
考え方などを問い、適切に進んでいる  
かをチェックするものです。また、議員  
は活発に市に対し提言を行います。

一般質問

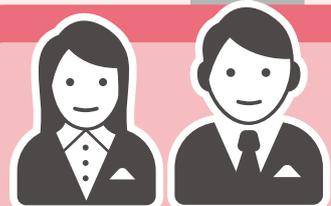
12/7~10

CHECK! P10~19

常任委員会に付託された案件を含  
め、その他の議案について、審議し  
議決しました。

## 用語解説

- ※1 市が市議会に対して、提出する議案の説明を行うこと  
です。
- ※2 一部の議案については、より詳しく審査を行うため、所  
管の常任委員会に審査を託します。  
この託す行為を“付託”といいます。
- ※3 所管する事務について任意に調査することを、“所管事  
務調査”といいます。  
富士宮市議会には、所管する事務に応じて3つの常任委  
員会(総務文教、環境厚生、産業都市)が組織されています。



閉会、議案審議

12/10

CHECK! P7

議案番号	件名	議決結果
陳情第3号	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施中止又は延期を求める意見書提出を求める陳情	不採択
議決第9号	富士宮市議会政治倫理条例制定特別委員会の設置について	原案可決 全会一致
議第58号	富士宮市立児童館条例制定について	//
議第59号	公の施設の指定管理者の指定について（富士宮市天子の森）	//
議第60号	公の施設の指定管理者の指定について（富士宮市富士山天母の湯）	//
議第61号	公の施設の指定管理者の指定について（富士宮市救急医療センター）	//
議第62号	静岡県営土地改良事業の分担金の徴収の時期及び方法の決定について	//
議第63号	令和3年度富士宮市一般会計補正予算（第6号）	//
議第64号	令和3年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	//
議第65号	令和3年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議第66号	令和3年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	//
議第67号	令和3年度富士宮市水道事業会計補正予算（第2号）	//
議第68号	令和3年度富士宮市下水道事業会計補正予算（第2号）	//
議第69号	令和3年度富士宮市病院事業会計補正予算（第1号）	//
議第70号	令和3年度富士宮市一般会計補正予算（第7号）	//
議第71号	令和3年度富士宮市一般会計補正予算（第8号）	//

※陳情＝陳情、議決＝議会からの議案、議＝条例・予算・契約などの議案の略。

※議案番号は、令和3年2月定例会からの通し番号。

※詳しくは市議会事務局（電話 22-1191）までお問い合わせください。

## 【賛否が分かれた議案】

○は賛成。×は反対。

議案・結果	議員名 (議席番号順)	議員名																						
		渡辺佳正	若林志津子	近藤千鶴	辻村岳瑠	細沢 覚	望月則男	齋藤和文	佐野寿夫	植松健一	仲亀恭平	臼井由紀子	深澤竜介	佐野和彦	佐野和彦	船山恵子	佐野和也	望月芳将	諏訪部孝敏	鈴木弘	村瀬 旬	小松快造	松永孝男	
陳情第3号	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施中止又は延期を求める意見書提出を求める陳情	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※ 議長は表決に加わりません。

## 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施中止又は延期を求める意見書提出を求める陳情とは？

適格請求書等保存方式とは、令和5年10月から開始される、消費税の仕入税額控除方式のことで、通称「インボイス制度」と呼ばれています。

現在の方式（請求書等保存方式）では、課税事業者、免税事業者※を問わず、仕入税額控除が可能です。インボイス制度では、認定事業者のみが発行できる「適格請求書」のみが仕入税額控除の対象となり、それ以外の請求書類では仕入税額控除ができなくなります。

富士宮民主商工会から提出された今回の陳情は、このインボイス制度の実施中止又は延期を求める意見書を、富士宮市議会から関係各所に提出することを求めるものですが、以下討論や委員会での質疑の結果、この陳情は不採択（意見書を関係各所に提出しない）としました。

※免税事業者とは、消費税において課税期間の基準期間における課税売上高が1000万円以下の事業者で、その課税期間における課税資産の譲渡等について、納税義務が免除されている事業者のこと（一部例外あり）。

### 【賛成討論 若林 志津子議員】（インボイス制度の実施中止または延期に賛成）

インボイス制度は、免税業者を取引から排除しかねないため、全国500万の免税事業者の死活問題となる。また、コロナ禍で中小業者・小売業者は制度の内容を知ることや準備ができていない。日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、日本税理士会連合会など多くの団体が導入の撤回・凍結・延期を求めていることなどから、陳情に賛成する。

### 【反対討論 佐野 寿夫議員】（インボイス制度の実施中止または延期に反対）

以下の内容により、インボイス制度については国の動向を注視していくべきと考えている。

- ・ 公平な税負担の確保につながる。
- ・ 制度開始後6年間は一定の仕入額控除を認める経過措置期間があり、この間に事業者は対応を見極めることができる。
- ・ 電子インボイス等のデジタル化により、商売全体の効率化を進められる。
- ・ 各団体から制度自体への意見が寄せられており、まだ変更される余地がある。

## 議会運営委員会

### 【若林 志津子 委員長コメント】

11月議会の開会日に、議長が所信表明で述べた「富士宮市議会政治倫理条例制定特別委員会の設置について」を提案し、全会一致で可決されたため、特別委員会が設置されました。

各会派から選出された委員で構成された第1回目の特別委員会にて、鈴木弘委員が委員長に互選され、(仮称)「富士宮市議会政治倫理条例」制定に向けてスタートを切ることができました。

議会の不祥事に対する市民皆様からのご意見等を受け止め、信頼回復への大きな一歩を踏み出しました。今後は、民主的で議員一人一人の発言を尊重する富士宮市議会となるよう、また市議会で何を議論し、何を決めているかなど、市民皆様が関心を寄せていただける市議会となるよう、引き続き「議会改革」と「議員定数」について取り組んでまいります。



## 総務文教委員会

### 政策課題

#### ●公立中学校制服選択制の導入について

### 【齋藤 和文 委員長コメント】

補欠選挙後、初めての当委員会開催となり新たに船山恵子委員が加わりました。

当委員会では、「公立中学校制服選択制の導入について」を引き続き調査検討し、これまでの経緯及びこれからの方向性を議論しました。また、12月には富士市公立中学校の先行事例を視察させていただきました。

12月1日発行の議会だより表紙では、富士宮西高校の今冬からのブレザー用スラックス導入が題材にされており、市内の高校や公立中学校でも導入の検討がされ始めているところです。委員会の中で議論を活発化させ、すべての公立中学校で議論されるように、学校生活において快適な環境づくりを目指し、議員自ら生徒目線で後押しをしていきたいと思えます。



## 産業都市委員会

### 政策課題

#### ●ふじのみやの一次産業イノベーションについて

### 【佐野 孜 委員長コメント】

畜産業の一番の課題は、畜産ふん尿処理であると考え、今後は畜産ふん尿処理について検討していくことに決定し、松下牧場と富士丘第一堆肥センターを見学しました。

富士丘第一堆肥センターは、松下牧場を含む周辺牧場のふん尿を処理し堆肥化しています。堆肥処理は、ふん尿の固形分のみで、牧場では固形分と水分を独自の方法で分離し、固形分を堆肥センターで完熟堆肥化しており、現在は、道路工事等の法面緑化対策で大量受注があり供給が間に合わない状態とのことでした。今後は、朝霧地区で飼育されている家畜の総数、一日に排出されるふん尿の総量、牧場経営者や民間の堆肥製造工場等で堆肥処理できている量など、市の現状を把握するとともに、畜産ふん尿の堆肥化やバイオマス事業について調査を進めてまいります。



環境厚生委員会

提言書を市長に手渡しました 12/10

政策課題

●ごみ処理に係る富士宮市一般廃棄物処理基本計画について

政策課題について詳しく知りたい方は、議会だより令和3年9月号をご参照ください。



【渡辺 佳正 委員長コメント】

環境厚生委員会はこの政策提言で、資源ごみの分別収集、ごみの削減、市民への情報提供などについて、毎年の進捗状況を議会に報告するよう市長に求めました。

市が令和3年度策定し、令和4年度からの10年間を計画期間とする「富士宮市一般廃棄物処理基本計画」でも重要課題として取り上げられている、ごみの再資源化と削減は、市の清掃センターと焼却灰最終処分場の長寿命化や、ゼロカーボンシティ宣言（2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを旨とする）の推進としても緊急を要する課題です。

また、ごみ処理には多くの経費がかかることも事実です。市民一人一人がその自覚を持つと同時に、大量生産・大量消費・大量廃棄社会から資源循環・ごみ減量社会に向けて、行政がごみ排出事業者及び再資源化事業者と連携して取り組むことが求められています。

環境厚生委員会は今回の政策提言に基づいて、今後の取組をしっかりと監視し、後押しします。



提言書全文はこちら

一般廃棄物処理基本計画とは？

ごみ（廃棄物）の発生を抑制し資源化を進めることや、排出された廃棄物の適正な収集・運搬と中間処理・最終処分を確保し、天然資源の消費抑制と環境への負荷をできる限り軽減させる「循環型社会」の形成を目指すため、富士宮市が平成24年に策定した10年間の計画のことです。令和3年度で計画期間が終了することから、市では令和4年度から10年間の新たな計画の策定を進めてきました。



— 新規条例の審査 —

【議第58号 富士宮市立児童館条例の制定について】

令和4年5月開館予定で工事が進んでいる、富士宮市立児童館（愛称:らっこ）には、多くの市民が関心を寄せています。

これまで議会では、児童館施設の使い勝手や周囲の交通安全対策などについて活発な議論が交わされてきました。11月定例会では児童館条例案が議会に上程され、開館時間、休館日、利用者の範囲などについて質疑が行われ、市は「開館後の運用状況を見ながら柔軟に対応していく。」などと答えました。議会は、これら質疑答弁を踏まえ、条例案を全会一致で可決しました。



建設中の児童館（イメージ図）

# 一般質問の目次

## 11月定例会の一般質問

17人の議員が、市の行財政全般についての執行状況や将来への考え方等を問い、適切に進んでいるかをチェックしました。また多くの議員は、市に対して施策の提言も行いました。

## Topics

### 項目別の質問内容

議員はこんなことを質問しています！

#### 新型コロナウイルス対応

- ・ワクチン接種対応 → P 14
- ・収束への動きについて → P 15

#### 環境関係

- ・自伐型林業の普及 → P 11
- ・湧玉池の藻類異常繁茂 → P 12
- ・CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロに向けて → P 16
- ・脱炭素化と地域新電力 → P 16
- ・資源ごみの分別収集と再資源化 → P 17

#### 道路事情

- ・尾崎バイパス開通と周辺道路事情 → P 18
- ・バイパスの渋滞解消等 → P 19
- ・県道白糸富士宮線と国道469号線 → P 19

#### 教育(こども)関係

- ・おいしい給食 → P 11
- ・部活と外部指導者導入 → P 11
- ・離婚調停中、裁判中の子育て支援 → P 12
- ・安全対策 → P 15
- ・GIGAスクール構想 → P 15
- ・給食への意識見直し → P 16
- ・教育環境の整備 → P 16
- ・児童クラブの定員と需要 → P 17
- ・学校の統廃合 → P 18

#### 産業関係

- ・フィルムコミッション、ロケツアーリズム → P 11
- ・中部横断自動車道開通とコロナ後の観光 → P 14

#### その他

- ・県盛土条例改正と市の対応 → P 12
- ・市内下部の基金残高 → P 12
- ・市役所駐車場の注意看板 → P 12
- ・行政サービスの改革 → P 13
- ・生活支援体制整備事業 → P 13
- ・健康分野での企業との連携 → P 14
- ・市内北部の生活支援体制整備 → P 16
- ・市内北部地域の土地活用 → P 17
- ・若者世代のまちづくり → P 18
- ・介護人材の確保 → P 18
- ・市営住宅の連帯保証人規定廃止等 → P 19

#### 紙面の大きさ上、掲載しきれなかった項目

- ・巣ごもりと虐待
- ・健やかに遊べる環境づくり
- ・ウッドショック対応



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年11月定例会を選択すると視聴できます。



うえまつ けんいち  
**植松 健一**  
(至誠)

## フィルムコミッション、ロケツーリズムの可能性について

**問** 市がフィルムコミッションとなり、継続的にロケを誘致していったらどうか。

**部長** フィルムコミッションとして専門的な人材を有する民間団体が活動されていて、地域の活性化と富士宮市のPRに貢献していただいていると認識している。情報を共有しながら連携を図るとともに協力していきたい。

**市長** 市でやれること、あるいは民間のロケ応援団富士宮等でやれることを役割分担して、市は行政としての役割を行い、ロケ応援団等に対して応援させていただく。それが富士宮市のPRにつながり、経済的な波及効果も期待できる。ロケに来ていただくことは大歓迎であり、また誘致についてもやっていきたい。

**問** ロケの誘致と連動してロケツーリズムを企画していったらどうか。

**部長** ロケ地を契機としたシティープロモーションや観光誘客活動への大きなチャンスにつながるものとする。今後市として放送、放映された作品内容とその反響等を見定めながら活動団体や地域と一体となって誘客活動に繋がっていききたい。

## 自伐型林業の普及について

**問** 持続的森林経営を考えた自伐型林業を推進するための施策を進めていったらどうか。

**部長** 既に民間主導での実例や実践がある。市として引き続き事業者が森林経営を進めていく上での課題の整理や支援について検討していく。

**市長** スギ・ヒノキを主とした林業は伐期が来るまで50年60年かかり、それでは親子2代かけないと投資したものが回収できない状況である。これからはスギ・ヒノキではない、20年から30年で成長する早生木に転換していくことがこれからの林業の道ではないかと思っている。



さの かずひこ  
**佐野 和彦**  
(富岳会)

## おいしい給食のススメ

**問** 学校給食の食べ残し量の推移について。

**部長** 令和元年度は9万5555kg、残食率9.35%。令和2年度は11万1512kg、残食率9.68%。令和3年度は10月まで7万8052kg、残食率10.78%。年々増加しているが、新型コロナウイルス感染症対策の影響と考える。

**問** 子どもたちの意見を、どのように調理委託業者の東洋食品に伝えているのか。

**部長** 学校との連絡ノートで、その日の給食について意見や感想をもらい情報を共有している。

**問** 全国学校給食甲子園に参加できないか。

**部長** 開催当初から何度か参加し、近年では平成29年度、令和元年度、令和2年度に参加している。まだ入賞できていないが、今後も応募

していく。

**意見** 残食率がゼロに近づくよう、子どもたちが笑顔になるような給食をぜひお願いしたい。

## 中学校の部活動と外部指導者導入を考える

**問** 外部指導者の導入にどのようなことに注意し、学校とのコンタクトを取っていくのか。

また、課題を解消するため、先行してモデルケースを作ることができないか伺う。

**教育長** 部活動指導員の導入は慎重に進める必要がある。部活動の指導は技術的な指導だけでなく、人間形成においても影響を及ぼすため、しっかりとした指導員の導入が必要と考える。各校全ての部活動に一旦に部活動指導員を置くことはできないので、議員の言うとおりモデルケースを導入し、成果や課題を基に調整を行い、令和5年度を目途に段階的に配置していくことを考えていく。

**意見** 部活動指導員と教え方の問題でトラブルが起きないように、研修会などを行ってほしい。



ふかさわ りゅうすけ  
**深澤 竜介**  
(無会派)

## 離婚調停中・裁判中の子育て支援について

**問** 離婚調停中・裁判中の、ひとり親世帯には、離婚が成立していないために各種支援を受けられない現状がある。しかし、国の会議で児童扶養手当について「離婚調停中でも受給可能」と制度が見直されることとなった。現実的な運用はいつからなのか。

**部長** 令和3年度中に基準改正通知が来る予定であるが、現実的な運用の時期は示されていない。

**意見** 政治の役割は、本当に困っている人に手を差し伸べることだと思う。離婚調停中は、精神的・経済的に苦しい状況にある。速やかな対応をお願いしたい。

## 静岡県盛土条例改正と富士宮市の対応

**問** 県条例と市条例の関係はどうなるのか。

**部長** 500㎡から1000㎡の間は、富士宮市条

例の適用となる。

**問** 静岡県の改正案は近隣と比べてどうか。

**部長** 現行の県条例は、近隣他県と比べて、若干弱いものであったが、改正案では、同程度になる。

**問** 県の条例が厳しくなったから、違反盛土がなくなるものではないと思う。そのあたりの意識はいかがか。

**部長** 市民からの情報提供は重要であるし、市役所内の連絡体制強化も引き続き行う。

## 県内において下位である、基金残高について

**問** 市民一人当たり、全基金残高は県内の35市町中26位と下位である。特に、学校施設は、面積は全公共施設の44%を占め、大半が建築後40年から50年経過している。また、設備改修には、補助金が出ない。そこで将来を考えると、学校施設整備基金は常に10億円程度は確保すべきと考えるがいかがか。

**部長** 提案のとおり学校施設整備基金は10億円程度を意識して積立てていきたい。



つじむら たける  
**辻村 岳瑠**  
(育成)

## 富士宮の源泉、湧玉池。保存と活用について

**問** 湧玉池の藻類の異常繁茂に関する調査報告書によると、対策として「下池の水位低下で流速増加させる」とあるが、市の考えを伺う。

**部長** 市が単独で調査を実施することは困難。国・県と連携し、専門的な調査に取り組むことを要望。安易な干渉はせずに、藻類の清掃を引き続き実施したいと考えている。

**市長** 湧玉池所有者としては、「豊かな水を蓄えたい」という選択。流速を早くすることで藻が無くなることだけを考えたら、そうかもしれない。しかしそうもいかない苦しい事情があることをご理解いただきたい。

**問** 文化財保護法一部改正の目的は、文化財の活用である。文化財の活用は観光振興、ひいてはその地域を活性化させるが、市の考えを伺う。

**部長** 文化財を観光などの地域資源として活用していくためには保護・保存が前提であり、保存なくして活用はあり得ない。文化財保護法の改正以降、業務が増加している状況であるが、与えられた体制の中で、効率的に文化財の保護・保存と活用に努めていく。

**部長** 湧玉池はとても力のある地域資源、宝である。近年、修学旅行の動向に変化あり。湧玉池を学ぶという活用は、修学旅行という視点から楽しくなってくると思う。

**部長** 湧玉池は富士宮の宝である。しっかり守った上で、それを阻害しない範囲内で観光資源として、うまく利用させていただきたい。

**教育長** 富士山学習で湧玉池がどんな場所であるかという学習として学んでほしい。

## 市役所北側駐車場の注意書き看板について

**問** 国際文化都市にふさわしい優しい表記にできないか。

**部長** 利用者に対する強い内容については修正したいと考える。



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年11月定例会を選択すると視聴できます。



まつなが たかお  
**松永 孝男**  
(富岳会)

## 分かりやすく、使いやすい行政サービスの改革について

**問** デジタル推進課設置の目的は。

**部長** 国においては令和3年9月1日にデジタル庁が発足し、行政のデジタル化は急速に展開している。デジタル推進課は市の行政のデジタル化、さらにはデジタルトランスフォーメーション(DX)を牽引する部署として設置した。

**問** デジタル推進課で行っている主な事業と今後の展望は。

**部長** 現在の主な事業は、情報化計画の策定及び実施、セキュリティ対策、庁内ネットワークや職員パソコンの運用管理、富士市との共同電算化、オープンデータ化の推進など多岐にわたる。今後の展望はDXを推進し市民サービスの向上、業務の質の向上に努めていく。

**問** 市の公共施設の窓口では、クレジットカードや電子マネー等のキャッシュレス決済は使用できるのか。また今後の導入予定は。

**部長** 現在のところ市庁舎や出張所などの窓口では使用できない。今後は、市民課と収納課における証明書発行手数料について、令和4年度中にクレジットカードや電子マネーなどのキャッシュレス決済ができるように準備中。また、令和3年4月から市税と水道料金はバーコード付納付書によるキャッシュレス決済を開始。さらに、税金等の納付手段を拡大していく。

**意見** 現金はその流通経路が分からず、感染症の感染源になる恐れもある。情報収集、物品購入、決済などスマホで何でもできるまちのトッパーになるべく準備を進めてほしい。



うすい ゆきこ  
**臼井 由紀子**  
(富岳会)

## 生活支援体制整備事業協議体について

**問** 地域包括支援センターの設置をはじめ生活支援体制整備事業を進める中で、平成28年9月に第1層協議体が、平成31年2月に第2層協議体を設置したが、進捗状況はいかがか伺う。

**部長** 厚生労働省では団塊の世代が75歳以上となる2025年を目処に、住まい・医療・介護・予防・生活支援の一体的な提供の仕組みである「地域包括ケアシステム」の構築を推進している。その中で市は、多様な支援を実施する主体となる協議体の設置をして「生活支援・介護予防」の充実を図っている。設置当初から、勉強会、地域課題の分析、体制づくりなどに終始していたため、もう一つ上の段階に進めていく必要があったことから、令和3年度は委託先を変え、各地区でニーズの高いことについての支援や話

し合いが進んでいる。

**問** 今後のボランティア活動について伺う。

**部長** 高齢者の困り事への支援を検討するに当たり、ボランティア活動を視野に入れることにより、必要なボランティアを養成することが重要。支援を受ける側と、行う側との持続可能な地域の支え合い活動の実現に向け考えていく。

**問** 協議体の第1層及び第2層での委員報酬に大きな差があるようだが、その差は何か伺う。

**市長** 第1層と第2層の委員報酬にあまりに差があるので検討する。

**問** 第1層、第2層というものを市民にどんな形あるいは広報紙などで伝えているのか伺う。

**市長** 「協議体」という言葉をはじめ、わかりにくい言葉が多すぎるので市民、委員にわかりやすい言葉で説明していくことと第1層、第2層、第3層という言葉はもう少し別の言葉を考えていく必要もあり、市としてももっともっと市民にPRしながら、分かっていただけのような形で進めていきたいと思っている。



さいとう かずふみ  
**齋藤 和文**  
(公明会)

## 今後のコロナワクチン接種対応について

**問** 現在までの接種率について。

**部長** 12/6 現在、全年代で1回目79.0%、2回目が76.3%となっている。

**問** 公費負担はいつまで可能か。

**部長** 国の予防接種実施要領では令和4年9月30日までとなっている。3回目の追加接種を希望する方は2回目終了から8か月を経過しないと受けることができないため、1月中に2回目を受け終える必要がある。

**問** 国産ワクチンなどを望む方への対応について。

**部長** 現在国産ワクチンは開発の途上であり、薬事承認されていない。3回目までの使用ワクチンは国の管理のもと、県から各市町に配分されるため、市独自の判断はできない。今後国産

ワクチンなどが承認されれば接種可能となる。

**問** 3回目の予約対応について。

**部長** 1・2回目の優先順位に関係なく、8か月を経過した方から順次3回目の予約券を月に2回郵送を始める。予約方法は電話とネットで行う予定。市内では1月から医療従事者などの接種、2月から一般市民の接種が開始される予定。今後労働者や教員等への接種に対する時間的配慮、運用を考えていく。

**問** 5-11歳までの接種について、保護者への説明をどのように行うか。

**部長** 5-11歳以下の小児を対象とする場合、安全性や有効性が確認された小児用のワクチンを使用し、2回接種することを前提に準備している。薬事承認の申請が出されたのはファイザー製のワクチンのみでまだ承認はされていない。そのため時期も未定であり、事業の詳細は国県の動き、取組方法、市医師会・市立病院小児科医の意向も確認した上で、保護者に対しても分かりやすい説明をしていきたい。



すずき ひろむ  
**鈴木 弘**  
(至誠)

## 企業との連携～健康分野～

**問** 今年7月大塚製薬株式会社と富士宮市との間で協定が結ばれたが、市内の医療関連企業との連携はないのか伺う。

**市長** 企業との連携は大事。当市にはいろんな医療に関わる企業がたくさんあるのでそういうところと今進めている。

**部長** 世界的な知見をもっている会社と富士宮市との間で、どんなことが市民の幸せになるかという勉強を今月からしていきたい。その先には連携ということを見据えていきたい。

## 中部横断自動車道開通後とコロナ後の富士宮市の観光について

**問** 11月になって清水の魚市場には、山梨県及び長野県からの車両が増えているという。このような旅行者に富士宮市に寄ってもらえるよ

うなPRができないか伺う。

**部長** 中部横断自動車道の静岡、山梨区間の全線が開通したことを契機に中部横断自動車道を中心とした観光誘客を推進していくことが必要である。今後本市の西の玄関口である芝川地区から、どのように誘客を図れば効果的であるか、回遊性の創出も含めて研究し、PRにつなげていきたい。

**問** 静岡市との連携した観光地図はあるか。

**部長** そのようなものはないと思っている。

**意見** そのような観光マップをぜひ研究していただきたい。

**問** 教育旅行の誘致について伺う。

**部長** 中部横断自動車道の開通により静岡県が長野県、山梨県、新潟県、静岡県の中央日本4県を対象とし、本県への教育旅行を誘致する促進策を実施している。その動向に注視しつつ本市においても誘致活動について研究していきたい。



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年11月定例会を選択すると視聴できます。



ふなやま けいこ  
**船山 恵子**  
(キセキ)

**子どもの安全対策について**

**問** 富士宮市の令和3年4月からの月ごとの不審者情報の件数は。

**部長** 4月に10件、5月に3件、6月に7件、7月に6件、8月に4件、9月に4件、10月に4件で合計38件となっている。

**問** 小学校には防犯カメラが設置されたが、幼稚園及び保育所にはどの程度設置されているか。また、警備会社と契約をしているところはあるのか。

**部長** 防犯カメラについては、33園中30園で設置。警備会社と契約している園については、休日や園が開所していない平日夜間などの侵入者の監視が主な内容になるが、33園中28園が契約。公立保育園は、全ての園で防犯カメラの設置及び警備会社と契約している。



もちづき のりお  
**望月 則男**  
(富岳会)

**GIGA スクール構想端末とアプリ使用の問題点**

**問** 端末使用及びアプリ使用におけるいじめなど、新たに出てきた問題点はないか伺う。

**教育長** 端末活用で起こっている問題点として、学習外への端末利用やクラスルームの掲示板へのいたずらの書き込み、家庭に持ち帰ったときに決められた時間外に使用するなど、ルールを守った使い方ができていない様子が見受けられる。掲示板の書き込みは一般公開されるものではなく、学級の中でのみ使用するもので、外部への情報が漏れるリスクは少ないと考えるが、管理する教員が定期的にチェックし、適切に児童生徒に指導することを学校に向けて通知している。ルールについては、学級指導の中で再度確認し、適切な使い方ができるようにして

**問** 富士宮市において子どもの安全の日を制定し、子どもの安全を守ることができないか。富士市においては、毎月15日を「子どもの安全を守る市民行動の日」とし、「散歩や、買い物をしながら子どもたちを見守る「ながら見守り」にご協力をお願いします。」というメールが配信されているが、富士宮市はそのような取組を考えているのか。

**市長** 政府もこれから、子ども庁をつくるというような話も検討しているようである。そうした意味で、子どもに優しいまちをつくっていくには、そういう日を決めることも1つの案だとは思っている。子どもに優しい、生んでよし、育ててよしというまちをつくるには、こうしたことも大事だと思う。しっかりと検討させていただきたいと思う。

**教育長** 私も、市長と同感である。ご指摘いただいた内容については前向きに、いろんな面で検討し、すぐにできることは、すぐに形にしていきたいなと考えている。

いく。特にパスワードや小学校で使用しているログイン用QRコードの管理、フィルタリング設定は児童生徒の情報を守るために重要であることを、学習指導や道徳などの時間を活用し、しっかりと指導した上で端末の活用を進める。

**問** ICT支援員の配置はあるのかを伺う。

**部長** 教職員の資質向上のための研修等支援も実施していることを理由に、ICT支援員の配置は考えていない。

**コロナ収束に向けての動き**

**問** 新型コロナウイルス感染症後遺症に悩む人へどのようなサポートを考えているのか伺う。

**部長** 後遺症の診察を行う医療機関は、共立蒲原総合病院が今年の5月から、週に1度外来診療を行っている。富士宮市単独では、なかなか動向をつかむことは難しいが、今後県が実施する実態把握の中で、保健所などと連携し、市の窓口でどのようなお手伝い、対応、相談ができるかといったことも含めて検討したいと考えている。



さの あつし  
**佐野 孜**  
(富岳会)

## 北部地域の魅力を発展させる支援の方向性

**問** ①一人暮らしの高齢者や独身若年層への生活困窮支援対策。②結婚支援対策。③運転免許返納後の交通支援対策。④地域コミュニティへの参加等のための地域拠点作り。⑤地域経済を担う小規模農業生産者への支援対策。

⑥キャンプ観光客への地元食材の提供支援。

**部長** ①生活困窮者就労準備支援事業等の支援プランを実施。②県では「ふじのくに結婚応援協議会」設立。市はこれを周知し、市事業もPRする。③市全体の様々なサービス実施主体と連携し支援方法を検討。④通いの場の立ち上げが進んでいる。財源の確保や就労を支援する方向で検討。⑤農業は整地、土壌改良、農道・水路の整備に補助金、堆肥供給も実施。⑥キャンプ地周辺では「地域の観光資源の磨き上げを

通じた域内連携促進に向けた実証事業」を地域ぐるみで盛り上げていくことを期待。

## 学校給食に対する意識の見直しについて

**問** ①児童生徒の味覚感覚と食べやすさ。②調理や配送業務の方々を知っていただくための配送車のラッピング。③給食費が未納の場合の請求と支払いの対策。

**部長** ①味覚は個々のものなので答えられない。残食の量から嗜好は推測できる。味覚以外の見た目も考慮し、学校給食改善委員会の意見も考慮して実施する。②配送車のラッピングは経費の関係上困難。③給食費未納は各学校で対応。卒業や転校の際は給食センターで対応。

## 学校教育環境の整備について

**問** ①不登校の現状と減少させる対策。②楽しい学校にする環境整備。

**教育長** ①不登校対策相談員を派遣。電話連絡や家庭訪問で寄り添う。②児童生徒が主体的に取り組める学校行事を実施。交流もICT機器を活用する。



わかばやし しづこ  
**若林 志津子**  
(日本共産党議員団)

## 2050年二酸化炭素排出実質ゼロの実現を

**問** 国連「1.5度特別報告書」の2030年までに大気中の温室効果ガス（大半は二酸化炭素）の排出を2010年比で45%削減し2050年までに実質ゼロを達成しないと、世界の平均気温の上昇を産業革命前に比して1.5度までに抑え込む事ができない。市内大手企業や運輸関係事業者と進捗状況を公表することなどを含む協定を結び、進める考えはあるのか。

**部長** 企業の脱炭素経営に取り組む動きが加速している。こうした取組は、企業価値の向上や、ビジネスチャンスの獲得に結びつくものとなり、将来的には、企業自ら積極的に情報開示していく状況になると考えている。当面は協定を結ぶ考えはないが、脱炭素の先進的な取組は、市域全体への波及効果が期待できるので、市の

ホームページへの掲載も含め、検討していく。

## 地域新電力への取組で再生可能エネルギーを地産地消できる仕組みづくりの検討を

**問** 鳥取県米子市の地域新電力ローカルエナジーは、地元企業5社と米子市、境港市が出資した官民連携会社で、県企業局や地元の事業者などが運営する太陽光発電、小水力発電、風力発電、廃棄物発電、バイオマス発電（木屑や燃えるごみを使って燃焼・ガス化し発電する）など多様な再生可能エネルギーを活用した発電所から電力を調達し、公共施設へ電力を供給している。地産地消で市の施設へ電源の供給者になった。公民館は太陽光発電と蓄電池を設置し、災害時は避難所で活用する事業も行っているが、仕組みづくりの検討をしておいかがか。

**部長** エネルギーの地産地消は、大変重要な取組だと認識している。既にある地域新電力事業者を中心に、市内の再生可能エネルギーを地産地消する仕組みづくりが進むことを期待し、実現に向けて積極的に連携、協力していきたい。



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年11月定例会を選択すると視聴できます。



わたなべ よしまさ  
**渡辺 佳正**  
(日本共産党議員団)

**委託料を受けている「公設民営」の学童保育所と、委託料なしで運営している「民設民営」の学童保育所について**

**問** 市は民設民営の学童保育所の運営状況を把握しているのか。

**部長** 民設民営の施設は、事業者が学習塾や習い事などの企業努力で集客していると認識し、放課後児童クラブの待機児童の受け皿となっているとは認識していないので、実態は把握していない。

**問** 両方の形態で保護者のニーズに込えている実態があるので、アンケートなどで保護者の意見を聞いたらどうか。

**部長** 子ども・子育て支援事業計画策定の過程でアンケートを実施し、(公設民営の)放課後児童クラブが足りていないという回答はなかった。



もちつき よしまさ  
**望月 芳将**  
(無党派)

**北部地域の土地活用について**

**問** 旧白糸滝レストセンター跡地の動向及び市との関わりは。

**部長** 富士山世界遺産登録と周辺整備について協力してもらっている。土地所有者の思いがあるし法律上課題がある。やれる部分から考えてみてはと提案をしたが進んではいない。

**問** 旧国立病院機構静岡富士病院跡地の動向及び市との関わりは。

**部長** 市が取得しての企業誘致や住宅用地の利用を検討したが、難しいと判断し相手にお伝えした。その後具体的な話は聞いていない。

**問** 旧朝霧高原温泉グリーンパーク跡地の動向及び市との関わりは。

**部長** 土地所有者と市のコミュニケーションはとれている。今現在、公式的には活用方法は聞

**意見** 同等に扱うというのではなく、民設民営の施設にもしっかり目を向けていただきたい。

**プラスチックごみと生ごみの分別収集・再資源化について**

**問** プラスチックごみ分別収集の実施はいつからの予定で、費用の見込み額は。

**部長** 令和5年4月から1年かけて分別方法を市民に周知し、令和6年度から分別収集を実施する方針。分別収集と再資源化の方法が決まっていないので費用の見込み額は算定できない。

**問** 水分の多い生ごみの再資源化をプラスチックごみ分別収集と並行して進める必要性について、どう考えるか。

**部長** 並行して取り組む課題と認識している。民間事業者からの提案があれば、生ごみの再資源化を地域循環共生圏事業として進めることができるか検討したい。また、家畜ふん尿に混入しての高速堆肥化事業の実績・状況も確認しながら、生ごみの再資源化を検討していく必要がある。

いていない。

**問** 既に週末の交流人口が増えつつある。これから関係人口や定住人口を増加させる動きをすべきではないか。

**市長** 北部地域活性化は市の悲願。今、アウトドアや文化的価値が見直され、富士宮市はずばらしいまちであるという気持ちが芽生えてきた。これを生かし、さらに交流人口と定住人口を増やすことに繋げたい。また、民間の事業にも応援したい。

**部長** 北部地域は富士箱根伊豆国立公園に指定されている地域が広大にある。この指定は自然公園法が適用され、都市計画法上、ホテルの建設は難しいが、必要施設として条件が整えば建設が可能である。これらを研究し環境省と詰めの話を進めている。





こんどう ちづる  
**近藤 千鶴**  
(キセキ)

## 学校の統廃合について

**問** 北部地域と芝川地域の令和2年の出生数は。令和3年の全体の出生数は。

**部長** 北部地域77人、芝川地域は27人。令和3年の出生数は700人弱になると思われる。

**問** 複式学級は県下で19学級ある。そのうち8学級が富士宮市で割合が多い。非常勤講師を増やして複式学級の解消は考えていないか。

**教育長** 考えていない。支援員を任用している。

**問** 小規模校は人間関係が固定化し、いじめやトラブルの逃げ場がない事をどう思うか。

**教育長** それは小規模校も大規模校も同じ、早期発見し、そうならないよう先生に願います。

**問** 統廃合の先にある将来像を示すことが地域の方への安心につながると思いがいかかがか。

**教育長** 今現在、統廃合は考えていない。地域

の要望がまとまれば対応していく。

**問** 隣の南部町は学校の統廃合の取組をしてきたが富士宮市でもできると思うがいかかがか。

**教育長** できるかできないかというところ。するかしないかといえば、今の選択はしない。

**問** 施設一体型の小中一貫校は考えているか。

**教育長** 小学6年生でしっかり卒業式をした方が、教育効果が高いので小中連携の形でやる。

**意見** 10年後新入学児童が半数になる。子どもの未来は地域の人や政治家のものでない。子どもたちに平等な教育環境と学習環境の多様性を確保すべき。動き出さなければいけない。

## 尾崎バイパス開通と周辺道路事情について

**問** 開通はいつごろか。遅くなった理由は。

**部長** 日程は未定。沿道への擦りつけ調整に時間を要し遅れた。最後まで事故の無いようする

**問** 橋場栈道橋の工事着手と芝川駅前の富士川身延線トンネルの撤去に向けての方向性は。

**部長** 栈道橋は令和4年度に工事着手。芝川駅前のトンネル撤去は県としては考えていない。



なかがめ きょうへい  
**仲亀 恭平**  
(育成)

## 地域で活躍するリーダーや次世代を担う若手が活躍できるように

**問** 起業等に関して市や民間主導の取組についてどのように考えているか。また、サポート体制ができていのか伺う。

**部長** 起業等の相談窓口である「ビジネスコネクトふじのみや」において、相談者それぞれに応じた解決策の提案や事業に関する各種手続、補助金申請などに関する支援を行っている。

**問** 若者の起業等に対する具体的な支援をどのように考えているか伺う。

**部長** 相談窓口について若者はもちろん、多くの皆様に知ってもらい、活用してほしい。ビジネスコネクトふじのみや専用ポータルサイトのほか、SNSにおいて情報発信し、事業のPRに努めていく。

**市長** 市民だけではなく、市外の方々にも知ってもらうことで富士宮市の発展につながり、その方々が定着することによって、市が活性化していくと思うので大いに進めていきたい。

## 市民一人一人が必要な介護サービスを受けられるよう介護人材を確保することが大切

**問** 介護人材確保の取組と離職対策について。

**部長** 介護人材確保支援策として、介護職員初任者研修費の助成制度の対象者（研修を修了し一定期間介護事業所に雇用されている人）に対し補助を行っている。

**問** 今後の介護のイメージアップの必要性。

**部長** 「介護の仕事体験発表会」の開催を広報ふじのみやへの掲載やポスターの掲示などで後方支援をしている。「介護の仕事体験発表会」は、介護現場で働く職員が経験した苦悩や感動を発表し、大変なだけではない介護の魅力をYouTubeで配信する予定。今後も関係機関と連携し、人材確保につながるよう継続した取組を進めていく。



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。  
QRコードを読み取り、令和3年11月定例会を選択すると視聴できます。



さのとしお  
**佐野 寿夫**  
(公明会)

**市営住宅入居の連帯保証人規定の廃止、もしくは家賃債務保証制度の導入について**

**問** 家賃債務保証業者による家賃債務保証制度の導入は。

**部長** 令和2年度より民間の家賃債務保証業者の利用による保証制度の導入を静岡県や5市町において開始。今後導入に向けて検討したい。

**国道139号富士宮バイパスの渋滞解消と富士富士宮道路、新広域道路交通計画について**

**問** 渋滞解消について、これまで意見や要望は。

**部長** 富士宮商工会議所とトラック協会から市等に要望がある。静岡県道路交通渋滞対策推進協議会において検討している。

**問** 富士宮市の発展のためには、富士宮バイパスの渋滞解消が必要だと考えるが。

**部長** 西富士道路の交通量は、有料時は約

2万1千台、無料化後、約4万9千台で交通量は2倍以上に増加した。渋滞対策が急務であると考え、新たなバイパスとなる富士富士宮道路の必要性を強く感じている。

**問** 富士市と連携し、富士富士宮道路を具体化していくべきと考えるが。

**市長** 構想段階だが、富士富士宮道路は田子の浦港付近から西富士道路を経て、南陵工業団地付近を経由し、北山インターチェンジ付近につながる道路となると考える。富士市と連携し、期成同盟会を結成し国などに要望していく。

**県道白糸富士宮線（上野バイパス建設状況と青木坂の拡幅整備）と国道469号（下条・精進川地先）の方向性について**

**問** 上野バイパスの全線開通の見通しは。

**部長** 令和4年度の開通を目標に道路整備を進めていると伺っている。

**問** 県道白糸富士宮線、青木坂の拡幅整備は。

**部長** 狹隘箇所の拡幅整備が事業化されるよう、地元と連携して県に働きかける。

**2月定例会の予定** 2月9日(水)～3月17日(木)

日	月	火	水	木	金	土
2/6	7	8	9 開会	10	11	12
13	14 議案審議 議会運営 委員会	15 総務文教 委員会	16 環境厚生 委員会	17 産業都市 委員会	18 議会運営 委員会	19
20	21	22	23	24	25 予算審査 特別委員会 (説明会)	26
27	28 議会運営 委員会	3/1 代表質問	2 代表質問	3	4	5
6	7	8 予算審査 特別委員会	9 予算審査 特別委員会	10	11	12
13	14 一般質問	15 一般質問	16 一般質問	17 一般質問 議案審議 閉会	18	19

- ◆定例会開催中以外にも、全員協議会、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。
- ◆日程は変更になる場合があるため、間近になりましたら議会事務局にお問い合わせください。TEL:0544-22-1191  
インターネット中継でも視聴できます。是非ご利用ください。





## 表紙の説明 & 作者高校生紹介

### 表紙作者紹介



▲工藤 鳳馬 さん(表紙作者)

表紙作品のテーマは「シンプルかつ大胆に」をイメージし、そのまま全体を見たときと一部を拡大して見たときの両方で楽しめるようなデザインを意識しました。

### 議会に一言

富岳館高校では、防災と地域理解という授業で、富士宮市の防災について探究学習をしています。

この学習を通して、富士宮市が様々な防災対策を行っていることがわかりました。しかし、その取組を知らない方や情報が取得できない方がいると思います。

そこで、**市民の防災意識向上のために取り組んでいることはありますか？**また、**私たち高校生から、市の取組や防災情報の発信を行いたいと考えているのですが、ご協力いただけませんか。**検討していただけると嬉しいです。



▲一言をくれた、キャリア教養系列の生徒さん

今回号の表紙は、富岳館高校に作成していただきました。次号(6/1発行)は富士宮東高校が作成します。どうぞ期待ください！！

### 校風紹介(学校紹介)

こんにちは。富岳館高校生徒会です。

私たちの学校の魅力は、7つの系列があることです。入学してから様々な体験学習を通して、自分の強みや興味、関心のある分野を見つけ、2年生からそれを活かせる系列へ進み、学びを深めていきます。学校行事や部活動も盛んで、楽しく刺激のある毎日を過ごしています。

また、地域貢献にも力を入れています。月に1度行われる朝市「岳市楽座」では、多彩な企画をご用意して地域の皆様をお迎えし、楽しんでいただいています。これからも、地域に愛される富岳館高校を目指して頑張っていきます。



▲校風を紹介してくれた、生徒会の皆さん



▲富岳館高校で開催している、朝市「岳市楽座」の様子

### 議会に一言へのお返事と編集後記

渡辺 佳正 委員

富岳館高校の皆さん、こんにちは。豪雨、地震、富士山噴火など私たちの命に直結する災害対策は、市の最重要課題の1つです。市議会は市民の皆さんへの情報提供、避難所充実、山林・河川の災害対策など幅広い観点から防災行政を後押ししています。市の将来を担う皆さんが、防災情報の発信に取り組もうとしている姿は、大変頼もしく思います。市と連携・協力して何ができるのか、市の危機管理局などと話し合ってください。議会としても全力で応援します。皆さんと意見交換の場もできるといいですね。

新型コロナウイルス感染症対策財源確保のため、今年度の議会だよりは、表裏表紙以外はフルカラー印刷から2色刷り印刷に変更されています。



笑顔のために

NO.424 令和4年2月1日発行

【編集発行】議会だより編集委員会

〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地  
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248  
E-mail c-jimmu@city.fujinomiya.lg.jp